

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 7日

茨城県知事 大井川 和彦 殿



提出者

住 所 茨城県石岡市北府中3丁目1番20
氏 名 筑波乳業株式会社
代表取締役社長 堀 弘行
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0299-24-2111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	筑波乳業株式会社 玉里工場
事業場の所在地	茨城県小美玉市上玉里 2232-1
事業の種類	E-09 食料品製造業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和 5年 4月 1日～令和 6年 3月 31日まで 1ヵ年

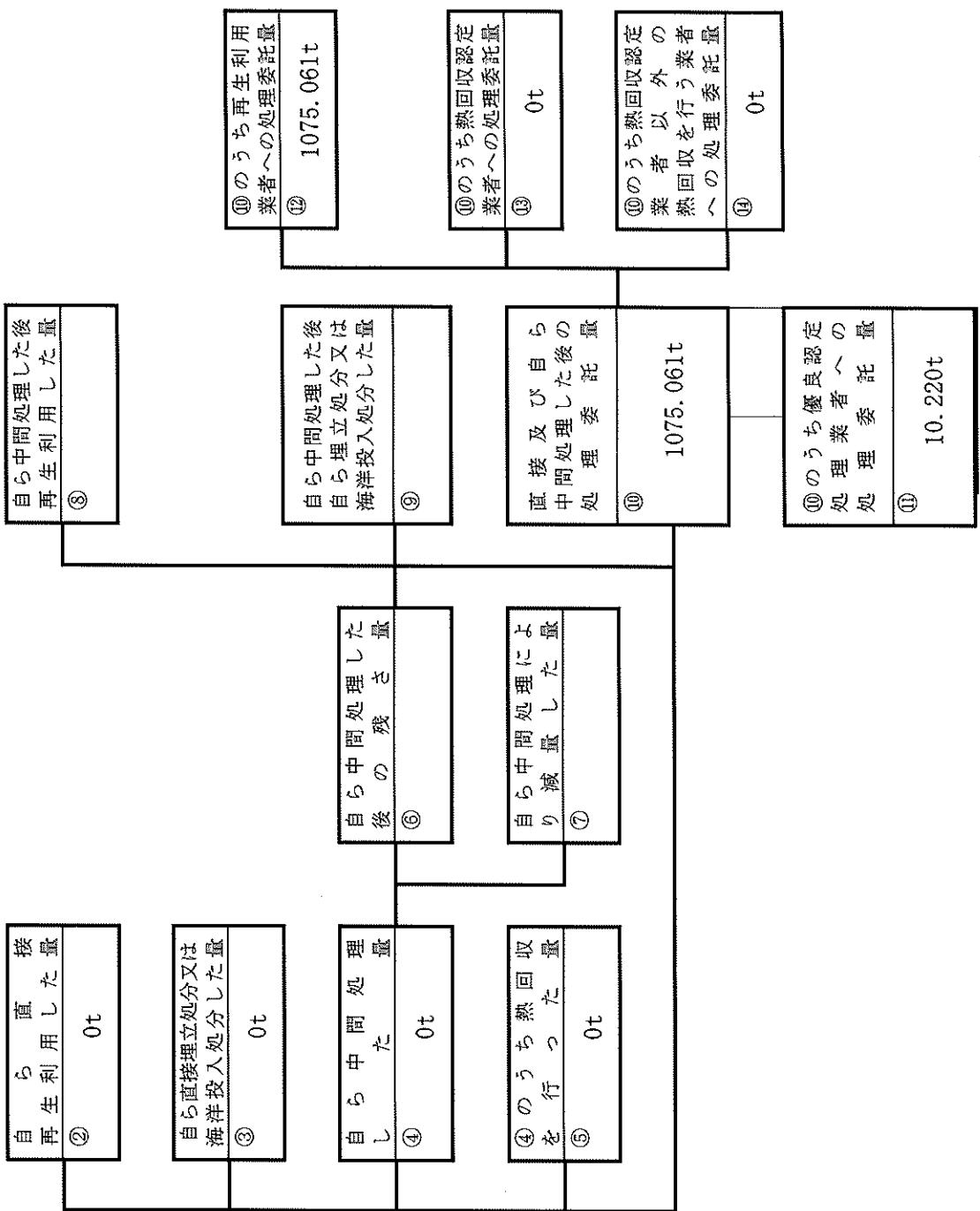
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,200t	全処理委託量	1,200t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への 処理委託量	145t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への 処理委託量	1,200t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への 処理委託量	0t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t
※事務処理欄			

（日本工業規格 A列4番）

(産業廃棄物の種類:汚泥)

計画の実施状況	
項目	有償物量
① 不要物等発生量	
② 自ら再生利用量	② 0t
③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③ 0t
④ 自ら中間処理量	④ 0t
⑤ 自ら熱回収を行った量	⑤ 0t
⑥ 自ら中間処理した量	⑥ 0t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	⑦ 0t
⑧ ⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	⑧ 0t
⑩ 全處理委託量	⑩ 1075.061t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	⑪ 10.220t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	⑫ 1075.061t
⑬ 热回収認定業者への処理委託量	⑬ 0t
⑭ 热回収認定業者以外の热回収を行う業者への処理委託量	⑭ 0t



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃酸)

有 償 物 量
不 要 物 等 発 生 量

不 要 物 等 発 生 量

自 再 生 直 接 利 用 し た 量
② 0t

排 出 量
① 95.338t

項目	実績値	自ら中間処理した量	自ら中間処理した量	自ら中間処理した量	自ら中間処理した量	自ら中間処理した量	自ら中間処理した量	自ら中間処理した量	自ら中間処理した量	自ら中間処理した量	自ら中間処理した量	自ら中間処理した量	自ら中間処理した量
② 排出量	95.338t	④ 0t	④ のうち熱回収を行った量	⑤ 0t	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
⑤自ら中間処理により減量した量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
⑦自ら中間処理を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
⑩⑪自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
⑪全処理委託量	95.338t	95.338t	95.338t	95.338t	95.338t	95.338t	95.338t	95.338t	95.338t	95.338t	95.338t	95.338t	95.338t
⑫優良認定処理業者への処理委託量	85.680t	85.680t	85.680t	85.680t	85.680t	85.680t	85.680t	85.680t	85.680t	85.680t	85.680t	85.680t	85.680t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t

自 ら 中 間 処 理 し た 量
⑧ 0t

自 ら 直 接 埋 立 処 分 又 は 海 洋 投 入 処 分 し た 量
③ 0t

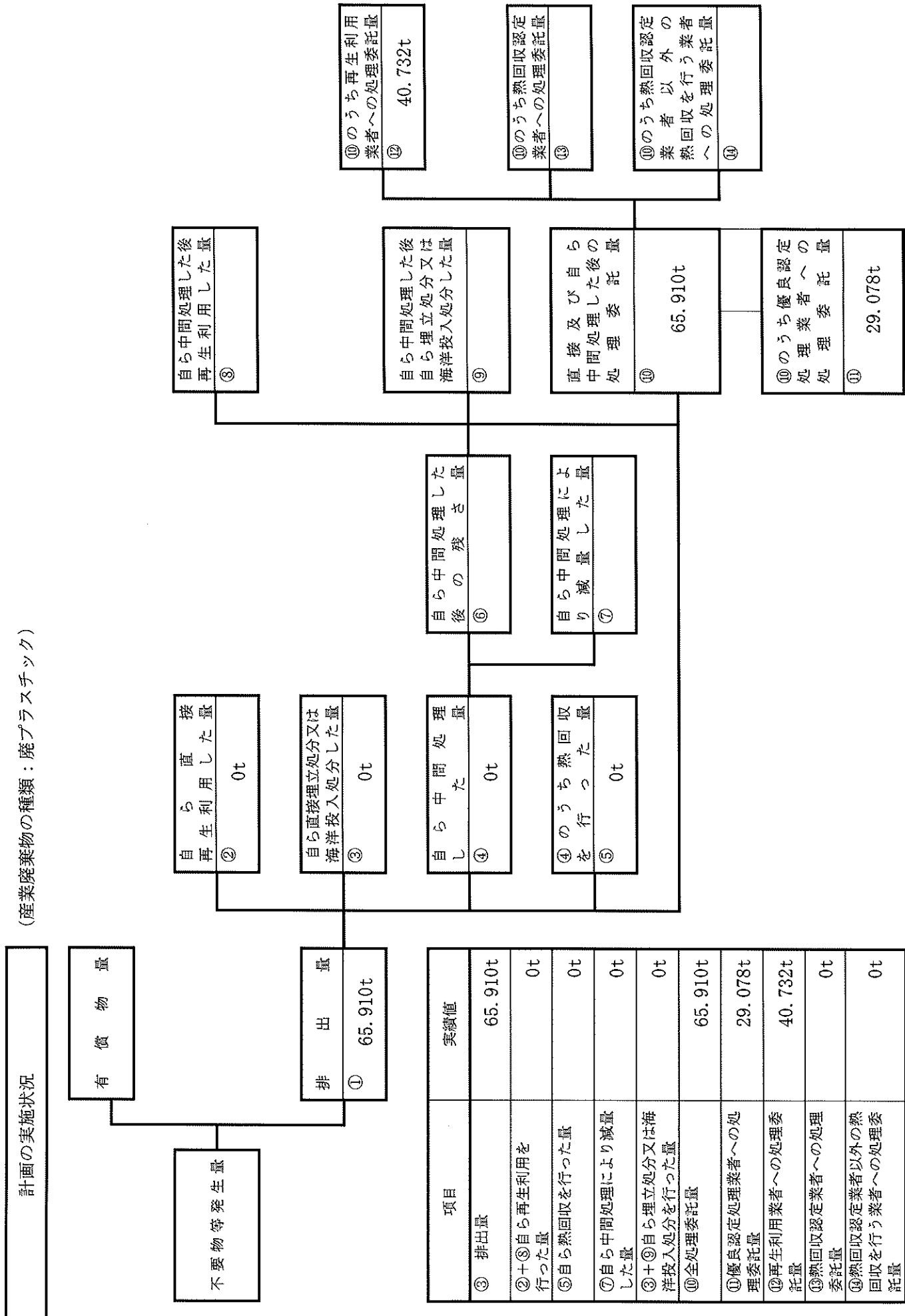
⑪のうち再生利用率	95.338t
業者への処理委託量	0t

自 ら 中 間 処 理 し た 量	95.338t
自 ら 直 接 埋 立 処 分 又 は 海 洋 投 入 処 分 し た 量	0t

⑪のうち優良認定業者への処理委託量	85.680t
業者への処理委託量	0t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：動植物性残渣)

有償物量
不要物等発生量

不 妨 物 等 発 生 量

自ら再生利用した量
② 0t

排 出 量
① 6,760t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③ 0t

項目 実績値
④ 排出量 6,760t
②+③自ら再生利用を行った量 0t
⑤ 自然回収を行った量 0t
⑦ 自ら中間処理により減量した量 0t
③+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 0t
⑤ 全処理委託量 6,760t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量 4,750t
⑫ 再生利用業者への処理委託量 4,750t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量 0t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 0t

自ら中間処理した量
後
自らの残さ量
⑥ 0t
自ら中間処理により減量
した量
⑦ 0t

自ら中間処理した量
後
自ら中間処理した量
⑧ 0t
自ら中間処理した量
後
自ら中間処理した量
⑨ 0t
自ら中間処理した量
後
自ら中間処理した量
⑩ 0t
自ら中間処理した量
後
自ら中間処理した量
⑪ 0t
自ら中間処理した量
後
自ら中間処理した量
⑫ 0t
自ら中間処理した量
後
自ら中間処理した量
⑬ 0t
自ら中間処理した量
後
自ら中間処理した量
⑭ 0t

自ら中間処理した量
後
再生利用した量
⑮ 0t

自ら中間処理した量
後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑯ 4,750t

自ら中間処理した量
後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑰ 4,750t

自ら中間処理した量
後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑱ 4,750t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：水銀使用製品（蛍光灯）

有 傷 物 量
不要物等発生量

不要物等発生量

接 直 利 用 量
② 0t

排 出 量
① 0.000t

項目	実績値	自ら中間処理した量	自ら直接処理立入処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した後 の残さ量	自ら中間処理した後 の減少量	直接及び自ら中間処理した量	自ら中間処理した後 の業者への処理委託量	うち再生利用業者への処理委託量
⑥ 排出量	0.000t	④ 0t	③ 0t	⑥	⑦	⑩	⑪	⑫
②+③自ら再生利用を行った量	0t	④ のうち熱回収を行った量	⑤ 自ら熱回収を行った量	⑧	⑨	⑪	⑫	⑬
⑤自ら中間処理により減量した量	0t	⑥ 自ら中間処理した量	⑦ 自ら中間処理により減量した量	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
⑦自ら埋立処分を行った量	0t	⑧ 全処理委託量	⑨ 全処理委託量	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t	⑩ 愛良認定処理業者への処理委託量	⑪ 再生利用業者への処理委託量	⑫ 熱回収認定業者への処理委託量	⑬ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭	⑮	⑯
⑦ 全処理委託量	0.000t	⑪ 0.000t	⑫ 0.000t	⑬ 0t	⑭ 0t	⑮ 0.000t	⑯ 0.000t	⑰
⑪ 愛良認定処理業者への処理委託量	0.000t	⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.000t	⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0t	⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	⑰
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.000t	⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0t	⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	⑮ 0.000t	⑯ 0.000t	⑰

自ら中間処理した後 再生利用した量
⑧ 0t

⑪ のうち再生利用業者への処理委託量	⑫ 0.000t
⑪ のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬ 0t
⑪ のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	⑭ 0t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	⑮ 0.000t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	⑯ 0.000t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑰ 0t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラス類)

有償物量
0 t

不要物等発生量

自ら再生利用量
0 t

排出量
0.0 t

項目	実績値	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後の中間処理による減量	自ら中間処理した後の中間処理に委託した量	自ら中間処理した後の中間処理に委託した量	自ら中間処理した後の中間処理に委託した量
⑧ 排出量	0.0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
⑨ 自ら再生利用を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
⑩ 自然回収を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
⑪ 自ら中間処理により減量した量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
⑫ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
⑬ 全處理委託量	0.0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
⑭ 優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
⑮ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
⑯ 熱回収認定業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
⑰ 熱回収を行なう業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

項目	接種量	自ら中間処理した後の中間処理に委託した量	自ら中間処理した後の中間処理に委託した量	自ら中間処理した後の中間処理に委託した量
② 自ら再生利用量	0 t	0 t	0 t	0 t
③ 自ら直接処分又は海洋投入処分した量	0 t	0 t	0 t	0 t

項目	自ら中間処理した後の中間処理に委託した量	自ら中間処理した後の中間処理に委託した量	自ら中間処理した後の中間処理に委託した量
⑪ のうち再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0 t	0 t
⑫ のうち熱回収認定業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。